

理工学研究科

教育プログラムの名称：物質化学工学専攻

授与する学位の名称：博士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（物質化学工学専攻・博士後期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「博士」の学位を授与します。

1. 応用化学、化学工学及びバイオ工学に関わる幅広く深い知識とそれらを応用する能力を身に付けている。
2. 科学技術に関する知識・情報を的確に把握する能力と記述力、発表と討論の能力及び国際的な情報収集能力を身に付けている。
3. 生涯にわたって自発的かつ継続的に学習できる能力を身に付けている。
4. 現在の社会状況を理解し、取り組むべき課題等の判断及び行動ができる。
5. 物質化学工学分野において、高度な専門知識を身に付け、自ら創造性を十分に発揮し、課題解決を先導できる能力を身に付けている。
6. 考察、検証及び議論を通して多元的に物質化学工学に関する研究を進め、工学の発展に寄与する学位論文を執筆できる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、物質化学工学専攻（博士後期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 物質化学工学に関する高度な専門職従事者としての知識と技能を体得するために体系的に構成されたカリキュラムを編成する。
2. 物質化学工学の応用力を養う授業科目を配置する。
3. 産業の現場、各種研究施設又は他専門分野の研究室において、工学に対する視野を広め、問題提起・解決能力を養う授業科目を配置する。
4. 専門的かつ多面的な考察を通して物質化学工学分野に関する論文を執筆できるべく、適切な助言・指導を行う。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

博士後期課程では、以下を持つ人材を口述試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探求や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 他への思いやりの心、協調性と高い倫理観
- 専門分野を含む幅広い分野に対する深い関心と応用力
- グローバルな視野と世界で活躍する研究者・技術者を目指す意欲

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （１）一般入試（口述試験、書類審査の結果を総合して判定）
- （２）社会人入試（口述試験、書類審査の結果を総合して判定）
- （３）外国人留学生入試（口述試験、書類審査の結果を総合して判定）